

令和4年度 公開講演会（駒澤大学大学院仏教学研究会 主催）

道元をインド以来の仏教史に位置づける

講師：石井公成 先生（駒澤大学名誉教授）

Buddha

一切衆生は悉有仏性なり。

Daruma

遍参はただ只管打坐、身心脱落なり。

而今の去那辺去。来遮裏来。

その間隙あらざるがごとくなる。

Nyojo

仏道をならふといふは、

自己をならふなり。

自己をならふといふは、

自己をわするなり。

Dogen

石井公成（Kosei Ishii）

1950年生まれ。「華嚴教学史の研究」により、1994年、早稲田大学文学博士。現在、駒澤大学名誉教授。著書『東アジア仏教史』（岩波書店）、『<ものまね>の歴史－仏教・笑い・芸能－』（吉川弘文館）、『聖徳太子－実像と伝説の間－』（春秋社）ほか多数。

期日：令和5年2月13日（月）

時間：16:30～（開場16:00）

会場：深沢キャンパス

120周年アカデミーホール

URL（同時配信）

※時間になりましたら、
下記 URL または
右の QR コードよりご参加ください。
meet.google.com/mac-mqrf-cnc



お問い合わせ：komazawadaigakuin@hotmail.com
03-6381-8915（仏教学院生室直通）